



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月5日

上場会社名 株式会社 ニフコ 上場取引所 東
 コード番号 7988 URL https://www.nifco.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 利行
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 最高財務責任者 (氏名) 本多 純二 TEL 03-5476-4853
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	198,777	5.0	23,105	0.7	23,461	5.8	16,185	4.7
29年3月期第3四半期	189,295	△3.2	22,944	8.1	22,185	5.1	15,460	8.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 18,765百万円 (-%) 29年3月期第3四半期 △205百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	318.34	296.90
29年3月期第3四半期	304.84	284.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	273,211	143,074	51.3	2,768.68
29年3月期	291,120	133,532	44.9	2,567.44

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 140,137百万円 29年3月期 130,637百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	50.00	-	70.00	120.00
30年3月期	-	60.00	-		
30年3月期(予想)				60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	262,000	1.0	30,500	2.3	29,000	2.0	20,800	2.1	409.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	53,754,477株	29年3月期	53,754,477株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	3,139,365株	29年3月期	2,872,003株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	50,842,726株	29年3月期3Q	50,716,466株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、自動車買替えなど民間耐久消費財需要の増勢はやや鈍化したものの、堅調な住宅投資や、民間設備投資の増加が寄与して、全体的には緩やかな成長が続きました。海外においては、新興国経済の勢いの鈍化はあったものの、景気刺激策による不動産市場の活況など内需の拡大が継続する中国経済、マイナス金利政策による消費支出と不動産市場拡大を背景に「インダストリー4.0」を掲げて成長を続ける欧州経済、本年1月の大幅減税を見越した雇用拡大や賃金上昇、民間投資と公共投資の拡大により好調を維持する米国経済等、地政学リスクや新興国の資金決済リスクを抱えつつも、世界経済全体としては成長軌道にありました。

当社グループの主要顧客であります国内自動車メーカーにおきましては、日本市場では、対前年同期比で生産販売台数の増加が見られました。一方、海外におきましても、北米やアジア市場の一部で伸び悩みが見られたものの、中国や欧州市場は堅調に推移しました。他方、海外自動車メーカーにおきましては、韓国勢OEMはSUVへの出遅れや中国市場でのTHAADの影響で低調でしたが、他OEMは乗用車の低迷をSUVの増勢でカバーする形で、概ね堅調に推移しました。

このような状況のなか、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、国内で1台当たり搭載金額の増加が寄与、海外では欧州地域での伸びもあり、前年同期比5.0%増の1,987億7千7百万円となりました。

一方、利益面では、原価及び販売費及び一般管理費に含まれる人件費が、米国における新工場及び新製品立ち上げ等により増加したものの、改善活動の推進による材料費等変動費率の低減等により限界利益の伸びが固定費の伸びを上回ったため、営業利益は前年同期比0.7%増の231億5百万円となりました。経常利益は営業外損益の為替差損益が大幅に改善したことにより、前年同期比5.8%増の234億6千1百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益においても前年同期比4.7%増の161億8千5百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①合成樹脂成形品事業

合成樹脂成形品事業は、国内においては自動車生産台数の増加に加えて、新型車への当社製品1台当たり搭載金額が伸びたことにより、売上及び粗利益の拡大に貢献しました。一方、海外においては、欧州地域は順調に売上が伸張したものの、韓国系OEM向け売上が特に中国地域で低迷、北米地域でもやや伸び悩みが見られました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の合成樹脂成形品事業の売上高は前年同期比5.9%増の1,807億6千1百万円となりました。セグメント利益につきましては、米国における新工場及び新製品立ち上げ等による人件費増加のため、前年同期比0.9%減の244億2千6百万円となりました。

②ベッド及び家具事業

ベッド及び家具事業は、国内においては、「シモンズベッド」としての高級ブランド戦略を推し進め、競争が激化するなかで、前年同期以上の売上を計上することができました。一方、アジアにおいては、特に中国でのホテル向け受注増大が寄与し、全体として好調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間のベッド及び家具事業の売上高は前年同期比7.6%増の179億1千2百万円となりました。セグメント利益につきましては、売上増や原価率の改善等により前年同期比15.4%増の27億4千万円となりました。

③その他の事業

その他の事業は売掛債権買取と各種サービス業務の受託であります。当第3四半期連結累計期間のその他の事業の売上高は、前年同期比94.7%減の1億2百万円となりました。これは主に、新聞及び出版事業を行っていた株式会社ジャパントイムズの株式を全て売却したことによる減少です。セグメント利益につきましては前年同期比5千6百万円増の6千5百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ179億8百万円減少して、2,732億1千1百万円となりました。この主な減少要因は社債償還・借入金返済及び配当金や法人税等の支払い、設備投資等により現金及び預金が205億3千6百万円減少したことによるものであります。尚、設備投資等による固定資産合計の増加は37億6千2百万円となっています。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ274億5千万円減少し、1,301億3千7百万円となりました。この主な減少要因は、1年内償還予定を含めて社債が114億6千9百万円、短期及び長期借入金が返済等により50億3千6百万円、支払手形及び買掛金が49億8千7百万円、未払法人税等が35億4千8百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ95億4千2百万円増加し、1,430億7千4百万円となりました。主として利益剰余金が94億6千2百万円増加したこと等によるものであります。

以上により当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ6.4ポイント増加し、51.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80,816	60,279
受取手形及び売掛金	49,389	47,162
電子記録債権	6,099	6,881
有価証券	1,640	491
商品及び製品	21,397	22,983
仕掛品	2,250	2,336
原材料及び貯蔵品	6,035	6,589
繰延税金資産	1,399	1,730
その他	8,577	7,533
貸倒引当金	△219	△272
流動資産合計	177,385	155,714
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	38,774	39,231
機械装置及び運搬具(純額)	19,383	21,019
工具、器具及び備品(純額)	4,679	4,433
金型(純額)	4,775	5,305
土地	20,447	20,708
リース資産(純額)	1,357	1,292
建設仮勘定	6,209	8,781
有形固定資産合計	95,627	100,772
無形固定資産		
のれん	2,760	2,463
その他	3,513	2,604
無形固定資産合計	6,274	5,067
投資その他の資産		
投資有価証券	7,013	7,249
繰延税金資産	1,586	1,554
その他	3,319	2,939
貸倒引当金	△86	△86
投資その他の資産合計	11,832	11,656
固定資産合計	113,734	117,497
資産合計	291,120	273,211

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,573	19,586
1年内償還予定の社債	11,753	1,713
短期借入金	8,013	9,949
1年内返済予定の長期借入金	9,679	29,868
未払金	6,239	5,644
未払法人税等	6,019	2,470
繰延税金負債	49	21
賞与引当金	1,699	909
その他	13,098	11,336
流動負債合計	81,127	81,502
固定負債		
社債	13,982	12,568
転換社債型新株予約権付社債	20,061	20,046
長期借入金	31,812	4,651
繰延税金負債	4,765	5,559
退職給付に係る負債	3,753	3,836
その他	2,084	1,972
固定負債合計	76,460	48,634
負債合計	157,587	130,137
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,290	7,290
資本剰余金	12,890	12,890
利益剰余金	122,722	132,185
自己株式	△11,912	△13,912
株主資本合計	130,990	138,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,415	1,830
繰延ヘッジ損益	136	29
土地再評価差額金	△93	6
為替換算調整勘定	△572	969
退職給付に係る調整累計額	△1,238	△1,152
その他の包括利益累計額合計	△353	1,683
非支配株主持分	2,895	2,937
純資産合計	133,532	143,074
負債純資産合計	291,120	273,211

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	189,295	198,777
売上原価	132,288	140,023
売上総利益	57,006	58,753
販売費及び一般管理費	34,062	35,648
営業利益	22,944	23,105
営業外収益		
受取利息	153	205
為替差益	—	258
補助金収入	313	286
その他	812	618
営業外収益合計	1,279	1,368
営業外費用		
支払利息	538	515
為替差損	912	—
デリバティブ評価損	392	285
その他	194	212
営業外費用合計	2,038	1,012
経常利益	22,185	23,461
特別利益		
固定資産売却益	339	518
特別利益合計	339	518
特別損失		
固定資産処分損	49	108
子会社株式売却損	—	※1 60
その他	5	—
特別損失合計	54	169
税金等調整前四半期純利益	22,470	23,810
法人税等	6,389	7,078
四半期純利益	16,080	16,732
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,460	16,185
非支配株主に帰属する四半期純利益	620	547
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	553	415
繰延ヘッジ損益	△42	△106
為替換算調整勘定	△16,976	1,665
退職給付に係る調整額	179	58
その他の包括利益合計	△16,286	2,032
四半期包括利益	△205	18,765
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△493	18,122
非支配株主に係る四半期包括利益	288	642

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間において連結子会社であった株式会社ジャパンタイムズの株式を全て譲渡したため、同社及び同社子会社である株式会社ジャパンタイムズエージェンシーを連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

※1 子会社株式売却損

連結子会社である株式会社ジャパンタイムズの株式を全て売却したことによるものであります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

[報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報]

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額 (注3)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	170,697	16,651	187,348	1,946	189,295	—	189,295
セグメント間の内部売上高 又は振替高	52	0	52	91	144	△144	—
計	170,749	16,651	187,401	2,037	189,439	△144	189,295
セグメント利益又は損失(△)	24,649	2,374	27,023	9	27,033	△4,089	22,944

(注) 1. その他には、新聞及び出版事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△4,089百万円は、全社費用△4,194百万円及びセグメント間取引消去105百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

[報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報]

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額 (注3)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	180,761	17,912	198,674	102	198,777	—	198,777
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44	0	44	77	121	△121	—
計	180,805	17,912	198,718	180	198,899	△121	198,777
セグメント利益又は損失(△)	24,426	2,740	27,167	65	27,232	△4,127	23,105

(注) 1. その他には、売掛債権の買取業務及び各種サービス業務の受託事業を含んでおります。なお、新聞及び出版事業を行っていた株式会社ジャパントイムズの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外しております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△4,127百万円は、全社費用△4,171百万円及びセグメント間取引消去44百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。